



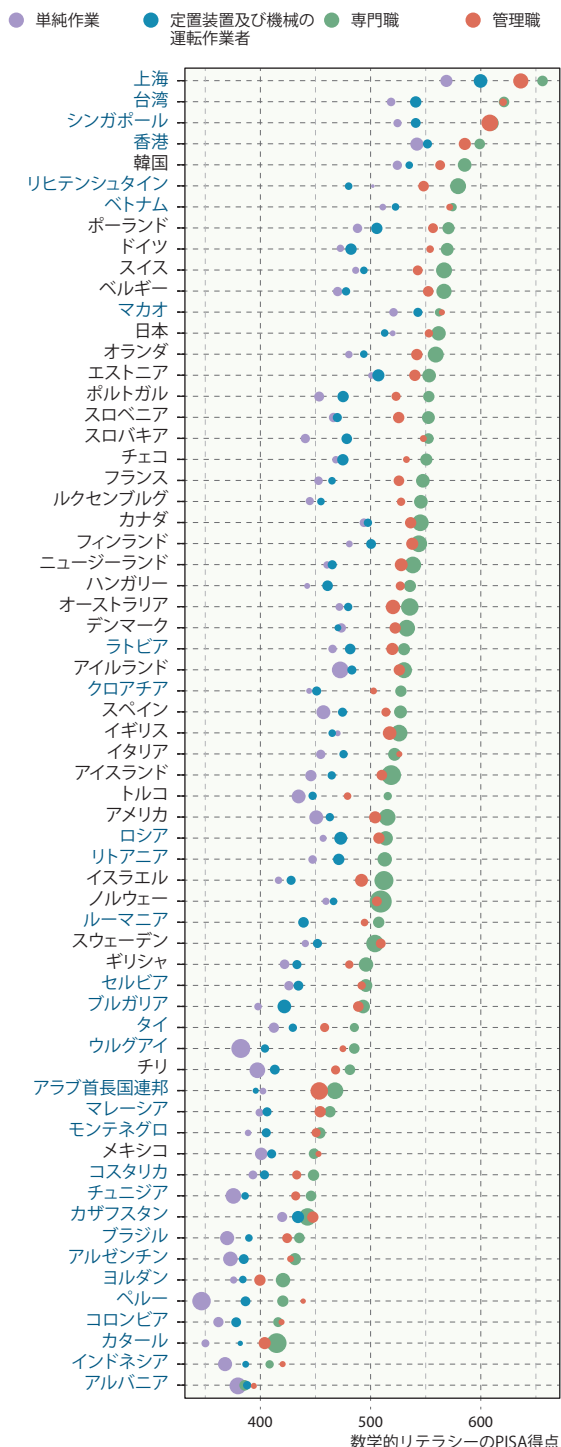
親の職業は生徒の成績に影響を及ぼすか。

- 親が専門的職業に就いている生徒たちは、一般に他の生徒たちより数学的リテラシーの成績がよい一方、親が単純作業に従事している生徒たちは、同級生と比べて到達度が低い傾向がある。
- 親の職業と生徒の成績との関係の強さは国ごとにより異なる。例えば、数学的リテラシーの成績についてみると、平均して、上海のクリーニング店の子供たちはアメリカの専門職の子供たちよりも成績がよく、ドイツの専門職の子供たちはフィンランドの専門職の子供たちよりも成績がよい。
- フィンランドと日本では、親が単純作業に従事している生徒たちに専門職の子供たちと同じ教育の機会を与え、同じように奨励することによって、高い水準の成績を達成している。

生徒の親が何をして生計を立てているのかを見ることで、その生徒の学校での成績についてどの程度推測できるのだろうか。それを確かめるため、PISA2012年調査では、参加している生徒たちに両親の職業について質問した。そして生徒たちの回答は、個々の労働を、産業や業務の種類、担う責任のタイプでくくることができる、国際的な比較が可能な分類にコード化された。例えば、この分類法では、それぞれの職業で必要とされるスキルのレベルに従ってまとめられた、以下九つの主な職業グループを定めている。管理職が最も高度な技能とみなされ、次いで専門職、技術者及び準専門職、事務補佐員、サービス及び販売従事者、農林漁業従事者、技能工及び関連職務の従事者、定置装置及び機械の運転作業員・組立工、単純作業の従事者である。

各グループ内で、個人は働く分野に従って分類される。例えば、専門職は、保健専門職、教育専門職、科学・工学分野の専門職、又は経営管理専門職などに分類される。

親の職業にかかわらず、
全ての生徒に高品質の教育を
うまく提供している学校システムがある



図の点の大きさは、親がその職業に就いている生徒の人数の相対的な大きさに
対応している。少なくとも一人の親がその職に就いていると回答した生徒が多
ければ点も大きく、少なれば点も小さくなっている。
少なくとも一人の親が特定の職に就いている生徒の平均成績と結び付けている。

親の職業は生徒の成績と関連付けられる…

ほとんどの国と地域で、親が専門職に就いている子供
たちは、平均して、数学的リテラシーで最もよい結果
を収めている。コロンビア、インドネシア、イタリア、メ
キシコ、ペルー及びスウェーデンは例外である。これ
らの国々では、管理職の子供たちが数学的リテラシー
で最高得点となっている。専門職の子供たちとその他
の生徒たちとの間の成績格差は数学的リテラシーで
最も大きく、読解力では小さめとなる傾向がある。

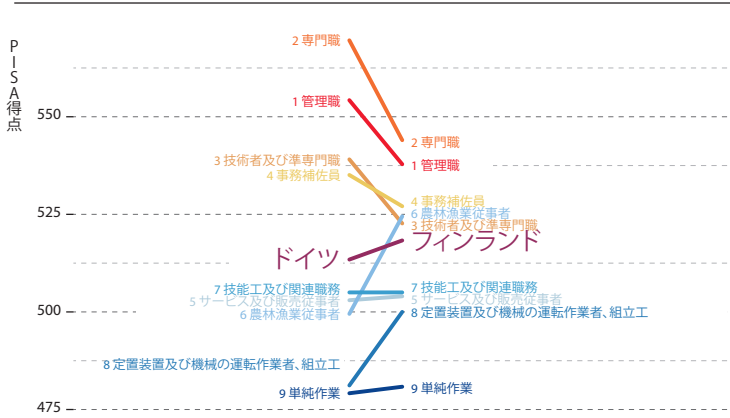
…そして、親が特定の職業に就いている生徒た
ちの割合は、総合的な国別成績に影響を及ぼ
す。

PISA調査結果から、互いに数学的リテラシーの成績
を比較した際に国・地域が占める位置は、親の職業に
関連する成績の隔たりと労働市場の構造にある程度
影響されることが明らかになっている。例えば、フィン
ランドの数学的リテラシーの成績はドイツよりもよい
が、ドイツの専門職の子供たちは数学的リテラシーの
成績が世界で最も優秀なレベルであり、親が専門職
のフィンランドの子供たちよりも格段に優れている。
一方、フィンランドの親が単純労働に従事している、す
なわち、技能工及び関連職務の従事者、定置装置及び
機械の運転作業者・組立工、単純作業の従事者の子
供たちの方が、親がこれらの職業に従事しているドイ
ツ人の生徒たちよりも成績がよい。両国の相対的順位
は、二つのグループの生徒たちの相対的割合によって
決定される。両国とも、親が専門職に就いている生徒
たちの方が少なく、親が単純労働に従事している生徒
たちの方が多い。

PISA2012年調査の職業分類は、様々な国の職業を
比較するために国際労働機関が策定したISCO08(国
際標準職業分類)による分類に基づいた。カテゴリ
ーは、1 - 管理職、2 - 専門職、3 - 技術者及び準専門
職、4 - 事務補佐員、5 - サービス及び販売従事者、6
- 農林漁業従事者、7 - 技能工及び関連職務の従事
者、8 - 定置装置及び機械の運転作業者・組立工、9 -
単純作業の従事者である。



ドイツとフィンランドの親の職業別
生徒の数学的リテラシー得点



PISAは成績と親の職業との関係を探る新たな対話型ツールを発表する。

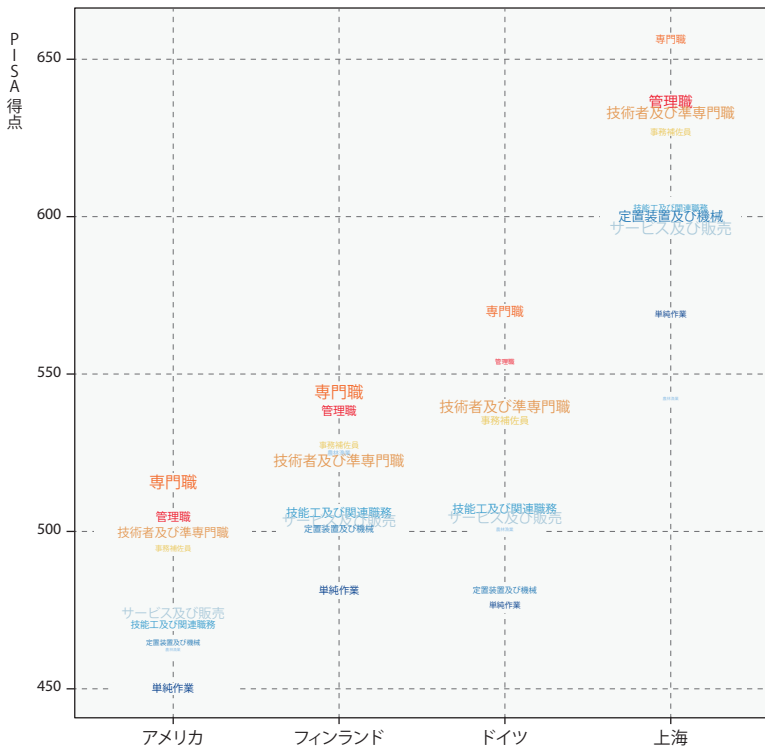
PISAでは、PISAに参加する国と地域における読解力、数学的リテラシー及び科学的リテラシーでの生徒の成績と親の職業との関係をだれでも探り、比較できる、対話型でWebベースのアプリケーションを立ち上げている。

親の職業と生徒の成績との関係について、下記のURLにアクセスして調べよう。

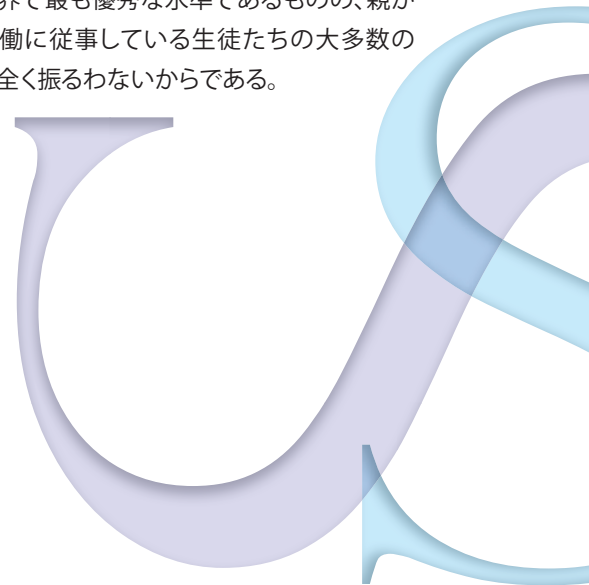
<http://beta.icm.edu.pl/PISAoccupations2012/>

アメリカ、フィンランド、ドイツ、上海の親の職業別
生徒の数学的リテラシー得点

- 管理職
- 専門職
- 事務補佐員
- サービス及び販売従事者
- 技能工及び関連職務の従事者
- 定置装置及び機械の運転作業、組立工
- 技術者及び準専門職
- 農林漁業従事者
- 単純作業の従事者



PISA調査では、フランスとニュージーランドが数学的リテラシーでほぼOECD加盟国平均の成績を収めているが、教育の不平等の度合いは平均を上回ることが分かっている。熟練労働者の子供たちと非熟練労働者の子供たちとの間の成績格差が最大レベルなのである。これに対し、フィンランド、香港及び韓国で成績が比較的よい理由は、平均以下の不平等レベルにある。ドイツがPISA調査において成績上位国に数えられないのは、ドイツの専門職の子供たちは数学の成績が世界で最も優秀な水準であるものの、親が単純労働に従事している生徒たちの大多数の成績が全く振るわないからである。



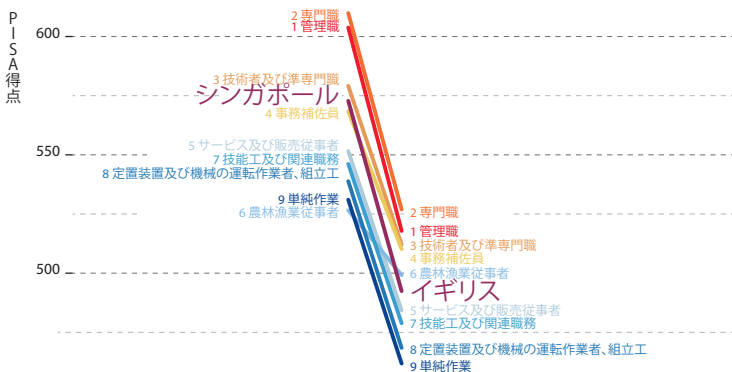


PISA

IN FOCUS

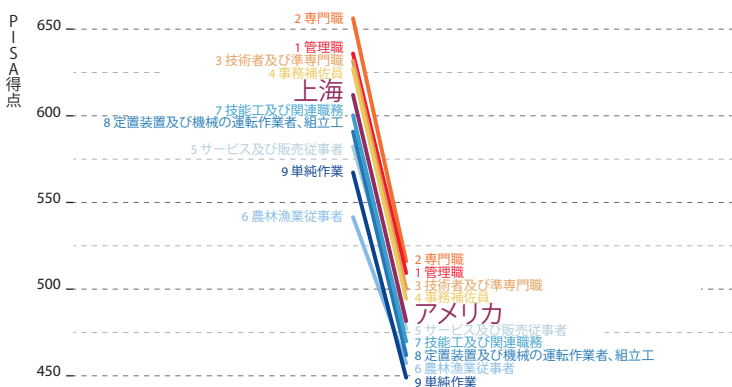


シンガポールとイギリスの親の職業別
生徒の数学的リテラシー得点



PISA調査では、専門職の賃金が世界で最も高いレベルのアメリカとイギリスにおいて、親が専門職として働く生徒たちは、他の国々の専門職の子供たちほど数学の成績は振るわず、親が単純労働に従事している上海とシンガポールの子供たちより成績がよくない。

上海とアメリカの親の職業別
生徒の数学的リテラシー得点



結論：親の職業と生徒の成績の間には強い関係がある一方で、一部の教育システムの生徒たちは、親の生業にかかわらず、他の国々の専門職の子供たちの成績を上回るという事実は、工場労働者の子供たちに、弁護士や医師の子供たちが享受しているものと同じ、質の高い教育の機会を与えることが可能であると示している。

本稿に関するお問合せ先

担当：Przemyslaw Biecek (przemyslaw.biecek@gmail.com) or Francesca Borgonovi (Francesca.borgonovi@oecd.org)

Przemyslaw Biecek developed the Occupations@PISA2012 application as part of his [Thomas J. Alexander Fellowship](#) in the Directorate for Education and Skills at the OECD.

参考サイト

www.pisa.oecd.org
www.oecd.org/pisa/infocus
[Education Indicators in Focus](#)
[Teaching in Focus](#)

次回テーマ：

「生徒たちには、うまくできるようになりたいという意欲があるか。」

本稿の翻訳は、日本のPISAナショナルセンターが担当しました。

Photo credit: © khoa vu/Flickr/Getty Images © Shutterstock/Kzenon © Simon Jarratt/Corbis